

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●エリザベス女王杯ではアカイトがG I 初挑戦初制覇

11月14日(日)に行われたエリザベス女王杯(G I)では単勝10番人気のアカイト(牝4歳/栗東・中竹和也厩舎)が優勝、重賞初制覇およびG I 初挑戦初制覇を果たしました。2着には7番人気のステラリア、3着には9番人気のクラヴェルが入り、3連複28万2710円、3連単339万3960円は、それぞれの式別における同レース史上最高配当となりました。

●ジャパンカップに外国馬3頭が出走

ジャパンカップ(G I)に予備登録のあった外国馬のうち、サンクルー大賞(仏G I)の勝ち馬ブルーム(牡5歳/愛・A. オブライエン厩舎)、インターナショナルS(英G I)などの勝ち馬ジャパン(牡5歳/愛・A. オブライエン厩舎)、ジャンロマネ賞(仏G I)の勝ち馬グラッドグローリー(牝5歳/仏・G. ピエトリーニ厩舎)の関係者より招待を受諾するとの連絡がありました。3頭は11月19日(金)に日本到着の予定です。

●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2021年日経新春杯(G II)の勝ち馬ショウリュウイクゾ(牡5歳/栗東・佐々木晶三厩舎/JRA通算成績17戦4勝)、2016年阪神カップ(G II)などの勝ち馬シュウジ(牡8歳/栗東・昆貢厩舎/JRA通算成績40戦5勝・地方1戦0勝)、2021年小倉大賞典(G III)の勝ち馬テリトリアル(牡7歳/栗東・野中賢二厩舎/JRA通算成績32戦8勝)は、11月5日(金)までに競走馬登録を抹消されました。ショウリュウイクゾはJRA馬事公苑で乗馬、シュウジは北海道新ひだかり町のアロクスタッドで種牡馬となる予定、テリトリアルは乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。

●キングエルメス、ケンホファヴァルトが故障

2021年京王杯2歳S(G II)の勝ち馬キングエルメス(牡2歳/栗東・矢作芳人厩舎)は、両第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。また2021年京都ジャンプS(J・G III)の勝ち馬ケンホファヴァルト(牡8歳/栗東・森秀行厩舎)は、競走中に左後管部裂創を発症したことが判明しました。両馬とも今後3か月以上の休養を要する見込みです。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●宮下瞳騎手(愛知)が国内女性騎手初の通算1000勝を達成

愛知の宮下瞳騎手(44歳)は、11月18日の名古屋競馬第2レースで1着となり、国内の女性騎手としては史上初の地方競馬通算1000勝を達成しました(他に韓国で56勝)。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋の結果

2021ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋は11月18日に行われ、第1戦は兼子千央騎手(金沢)、第2戦は魚住謙心騎手(金沢)が優勝しています。

●チャンピオンズC(中京)に船橋のカジノフォンテンが出走予定

チャンピオンズC(G I、12月5日、中京)に、カジノフォンテン(船橋)が登録しました。Jpn I・2勝馬ですが、逃げ、先行脚質だけに、中央競馬の厳しい流れや直線の坂がハードルとなるでしょう。

●ウェスターランドらが参戦、11月23日の浦和記念(浦和)

浦和記念(Jpn II、11月23日、浦和、2000万円)は、昨年の3着馬ウェスターランドに、好調メイショウカズサが挑む構図で、他にヴェルテックス、タービランス(浦和)、メイショウダジン、アメリカンフェイスまでが争覇圏内と考えられます。

●兵庫ジュニアグランプリ(園田)は無敗馬コンバスチョンが有力

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月25日、園田、1400万円)は、ダート1400万円2戦2勝のコンバスチョンが中心、以下セキフウ、ヒストリックノヴァ(大井)、エンリル(北海道)、ネフィラム、トモノボーイの順に有力視され、イチローイチローは初のダートが課題となりそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●カルティエ賞発表~欧州年度代表馬にセントマークスバシリカ

欧州競馬の年度表彰制度であるカルティエ賞の受賞人馬が11月10日に発表されました。年度代表馬に輝いたのはアイルランドのセントマークスバシリカ(牡3歳、父シユーニ、A. オブライエン厩舎)。5月のG I 仏2000ギニー(芝1600万円)から、6月のG I 仏ダービー(芝2100万円)、7月のG I エクリプスS(芝1990万円)、そして引退レースとなった9月のG I 愛チャンピオンS(芝2000万円)までG I ばかり走って4戦4勝とパーフェクトな成績を残しました。来年からアイルランドのクールモアスタッドで種牡馬入りします(交配料は6万5000円=約845万円/1ギニー130円で換算)。また、最優秀3歳牝馬は、日本生まれのディーブインパクト産駒であるスノーフォール(牝3歳、A. オブライエン厩舎)が受賞。レース史上最大着差となる16馬身差で圧勝した6月のG I 英オークス(芝2410万円)を皮切りに、7月のG I 愛オークス(芝2400万円)、8月のG I ヨークシャーオークス(芝2370万円)とG I・3連勝を記録しました。